

公 告 第 03008 号

リクルート健康保険組合の令和2年度収入支出決算及び事業報告

(財産目録・決算残金処分書)を別添のとおり公告する。

令和3年7月16日

リクルート健康保険組合
理事長 野口孝広



記号番号	業 種	設立年月日
東796	情報サービス・ 調査・出版	昭和 55 年6月1日

令和 2 年 度
事業報告書

(附 財産目録、収入支出決算概要表、損益計算書、貸借対照表、収入支出決算書)

リクルート健康保険組合

第1 事業概況

健康保険組合を取り巻く環境は、高齢者医療制度への拠出金の増加、健保加入者の平均年齢向上による保険給付費増加など、年々厳しさを増しているが、本年度はさらに新型コロナウイルス感染拡大の影響で保険料収入が減少するなど、より一層厳しい財政状況の中での運営となった。

[一般勘定]

○収入:新型コロナウイルスの影響で、主に派遣スタッフを中心にした被保険者数の減少、賞与額の減少があり、保険料収入が減少したことなどにより総収入額は、244.16億円(前年度比97.6%)となった。

○支出:新型コロナウイルスの影響による医療機関への受診抑制などで、保険給付費は前年度比で5.89億円減少するなど、総支出額は234.94億円(前年比97.6%)となった。

その結果、決算残金および単年度収支は9.22億円の黒字となった。

★一般勘定

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年度増減	前年比	
収入合計	保険料(一般・調整)	23,076,590	24,248,679	24,051,172	▲ 197,507	99.2%
	積立金繰入	1,000,000	400,000	0	▲ 400,000	-
	その他	230,110	356,154	365,045	8,891	102.5%
		24,306,700	25,004,833	24,416,218	▲ 588,615	97.6%
支出合計	事務所費	183,922	191,771	178,305	▲ 13,466	93.0%
	保険給付費	11,371,452	11,957,428	11,424,255	▲ 533,173	95.5%
	納付金	8,885,554	10,673,852	10,735,423	61,571	100.6%
	保健事業費	576,797	806,613	719,276	▲ 87,337	89.2%
	その他	430,982	452,974	437,161	▲ 15,813	96.5%
	21,448,707	24,082,638	23,494,420	▲ 588,218	97.6%	
収入合計-支出合計	1,833,638	922,195	921,798	▲ 397	100.0%	
★単年度収支(積立金繰入除)	1,833,638	522,195	921,798	399,603	-	

<参考> 過去3年間の保険料収入に対する法定給付費・拠出金(義務的経費)の割合

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年度増減	前年比
法定給付費/保険料	48.7%	49.2%	47.5%	-1.7%	
納付金/保険料	38.5%	44.0%	44.6%	0.6%	
計	87.2%	93.2%	92.1%	-1.1%	

[介護勘定]

○収入:準備金繰入の減少などにより、収入合計は25.35億円(前年度比94.7%)となった。

○支出:過去年度精算分の減少による介護納付金の減少などにより、24.28億円(前年度比96.5%)となった。

その結果、決算残金は1.07億円となり、準備金繰入を除く単年度収支は、0.07億円の黒字となった。

★介護勘定

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年度増減	前年比	
収入合計	保険料(介護)	2,191,389	2,351,121	2,435,153	84,032	103.6%
	繰越金・繰入金繰入	300,000	300,000	100,000	▲ 200,000	-
	その他	16,671	25,296	4	▲ 25,292	0.0%
	2,515,397	2,676,417	2,535,158	▲ 141,259	94.7%	
支出合計	介護納付金	2,348,337	2,514,837	2,427,663	▲ 87,174	96.5%
	その他	250	297	81	▲ 216	27.3%
	2,348,705	2,515,134	2,427,744	▲ 87,390	96.5%	
収入合計-支出合計	190,244	161,283	107,414	▲ 53,869	66.6%	
★単年度収支(繰入除)	90,244	▲ 138,717	7,414	146,131	-	

第2 庶務の概要

1. 事務所

所在地	概要
東京都千代田区丸の内1丁目9番2号	平成21年3月23日より

2. 組合会

開会年月日	報告及び議決事項の件名	報告及び議決事項の概要	議員出席状況		書面による議決権行使	議決又は報告結果	
			出席	欠席		賛成	反対
R02.7.17	第101回組合会 1. 2019年度一般勘定決算報告 2. 2019年度介護勘定決算報告 3. 2019年度一般勘定決算残金処分 4. 2019年度介護勘定決算残金処分報告 今後の保険料率の見通し	・同左 ・同左 ・同左 ・同左 ・同左	14	2	2	16	0
R03.2.10	第102回組合会 1. 令和2年度一般勘定予算 2. 令和2年度介護勘定予算 3. 規程の改定について 4. 理事長専決事項	・同左 ・同左 ・ファミリー健診実施規程改定 ・WEB会議システムで組合会を開催する際の規定追加 ・システムに係る安全対策の規定、社会保険手続きに係る電子申請運用開始に伴う変更	15	1	1	16	0

3. 議員及び理事

区分	議員			理事			備考
	定員	現員	欠員	定員	現員	欠員	
選定	8	8	0	3	3	0	自 令和 元年6月17日 至 令和 4年6月16日
互選	8	8	0	3	3	0	自 令和 元年6月17日 至 令和 4年6月16日
計	16	16	0	6	6	0	

第3 事業主・事業所・被保険者等の状況

区分		前年度末	本年度		本年度末
			増	減	
事業主数		31	0	0	31
事業所数		31	0	0	31
被保険者 数 (人)	男	17,257	3,948	4,759	16,446
	女	61,887	19,836	23,647	58,076
	計	79,144	23,784	28,406	74,522
被扶養者数(人)		13,499	3,529	3,837	13,191
介護保険第2号 被保険者(人)		37,456	13,786	15,547	35,695
平均報酬 月額(円)	男	436,418			443,056
	女	265,999			278,708
	計	304,119			315,937
総標準賞与額 (年間合計)		30,683,556(千円)		27,815,137(千円)	

※平均報酬月額及び総標準賞与額(年間合計)は、保険料免除者を除く保険料収入対象者の額

第4 保険給付の概要

新型コロナウイルスの影響による医療機関への受診抑制による療養給付費の減少や、メンタル疾病者減少による傷病手当金の減少により保険給付費は114.24億円(前年度比95.7%)と減少した。

尚、平成31年4月の付加給付廃止により、付加給付の支出はほぼなくなった。

[法定給付]

		件数			金額(単位:千円)		
		令和元年度	令和2年度	前年比	令和元年度	令和2年度	前年比
被保険者	療養給付費 等	917,398	708,177	77.2%	7,966,190	7,587,627	95.2%
	傷病手当金	4,974	4,541	91.3%	825,439	814,660	98.7%
	埋葬諸費	19	17	89.5%	940	1,020	108.5%
	出産育児一時金	1,877	1,861	99.1%	738,199	753,673	102.1%
	出産手当金	1,111	1,130	101.7%	521,307	544,504	104.4%
	計	925,379	715,726	77.3%	10,052,076	9,701,483	96.5%
被扶養者	療養給付費 等	193,733	138,057	71.3%	1,779,592	1,628,610	91.5%
	埋葬諸費	4	7	175.0%	200	350	175.0%
	出産育児一時金	254	237	93.3%	101,796	93,797	92.1%
	計	193,991	138,301	71.3%	1,881,588	1,722,757	91.6%
合計	1,119,370	854,027	76.3%	11,933,663	11,424,240	95.7%	

[付加給付]

		件数			金額(単位:千円)		
		令和元年度	令和2年度	前年比	令和元年度	令和2年度	前年比
被保険者	一部負担還元金 等	808	1	0.1%	21,428	15	0.1%
	出産一時金付加金	0	0		0	0	
	計	808	1	0.1%	21,428	15	0.1%
被扶養者	家族療養費付加金 等	74	0	0.0%	2,338	0	0.0%
	出産一時金付加金	0	0		0	0	
	計	74	0	0.0%	2,338	0	0.0%
合計	882	1	0.1%	23,766	15	0.1%	

第5 直営医療機関及び指定医療機関

1. 直営医療機関

該当なし

2. 指定医療機関

該当なし

第6 保健事業

1. 実施状況

次ページ

2. 固定施設の概要

該当なし

第6 保健事業

事業区分(注1)	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	実施状況・時期			評価(注2)
			属性	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び改善事項	
特定健康診査事業	3 特定健康診査	・平成31年度のアンケートから対策を考え、実施する(対象は社員の被扶養者)(1年目実施)	被保険者・被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	12,593	<p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強制被保険者は事業主から定期健診結果をもらい、特定健診の実施となります。 ・任意継続者と被扶養者はファミリー健診・人間ドックを特定健診とします。 <p>【実施時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で例外的なスケジュール ・強制被保険者(従業員)：12月～1月 ・強制被扶養者(派遣スタッフ)：10～2月 ・任意継続・被扶養者：8～2月 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年5月実施予定であった保健指導はコロナの影響で未実施。令和2年度の保健指導は令和3年3月から開始。 ・ICTプログラムで保健指導を行えるソフトウェアを委託先とし、保健指導を行った。 ・従業員は勤務時間外参加とした。 ・派遣スタッフ、被扶養者、任意継続被保険者は任意の参加である。 <p>【実施時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員：9月上旬に案内 ・派遣スタッフ 専健診受診者は11月下旬に案内、秋健診受診者は翌年5月下旬に案内をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・強制被保険者(従業員)は業務時間内に受診ができ、事業主から受診勧奨が行われている。 ・特定保健指導案内前との種別別に特定健診受診率を実施 ・一部の事業所の定期健康診断を実施したが、開診で混雑、受診確認ができない受診者に受診から手紙を送付した。 ・平成30年度から被扶養者の住所管理を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所によって特定健診の開始(届出確認、受診確認)の確認等を行っていない。 ・被扶養者と任意継続被保険者は受診の有無は本人次第である。 ・令和2年度はコロナの影響があり、健診を控えた加入者が存在する。 	5
特定保健指導事業	4 特定保健指導	派遣社員に対しての対策を実施。	・	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	1,433	<p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年5月実施予定であった保健指導はコロナの影響で未実施。令和2年度の保健指導は令和3年3月から開始。 ・ICTプログラムで保健指導を行えるソフトウェアを委託先とし、保健指導を行った。 ・従業員は勤務時間外参加とした。 ・派遣スタッフ、被扶養者、任意継続被保険者は任意の参加である。 <p>【実施時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員：9月上旬に案内 ・派遣スタッフ 専健診受診者は11月下旬に案内、秋健診受診者は翌年5月下旬に案内をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣スタッフ、被扶養者、任意継続者は任意の参加のため、受診するかどうか個人判断となる。 ・根拠候補には健診よりメールでの受診勧奨を実施している。 ・ICTプログラムを実施することで、参加しやすい環境を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣スタッフ、被扶養者、任意継続者は任意の参加のため、受診するかどうか個人判断となる。 ・令和2年度はコロナの影響を強く受けた。今後の委託先選定にあたってはICTで完結でき、保健事業担当者テレワークでも実施可能な体制を構築する必要がる。 	3
保健指導宣伝	2.5 機関紙(けんぼっぴ)・その他健康情報提供	けんぼっぴの内容・ページ数を見直し、読んでもらえる紙面になるよう引き続き検討、対策を実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	15,280	<p>令和2年8月、令和3年3月に発行。発行対象者全員に送付。計画では紙面内容の見直しやページ数の見直しを行う予定だったが、コロナの影響で十分な時間が取れず前年通りのページ数、また紙面構成となった。</p>	<p>計画的に発行の準備を進め、令和3年3月号には保健事業の一環として加入者よりフィットネスクラブや人間ドックの問い合わせが入るようになり、加入者の保健事業に関する理解が多少深まったと感じる。</p>	けんぼっぴのページ数や内容の見直しを行う十分な時間が取れず、他の事業を優先している。	4
	2.5 季刊誌(けんぼっぴ) For Family	令和2年10月より被扶養者向けに新規創刊。初回には読者向けに被扶養者の興味のある記事に関するアンケートを実施。(同時に電話連絡先を取得)令和3年1月に冬号を発送し、令和3年以降も年3回被扶養者向けに発行する。	被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	1,522	<p>令和2年10月、令和3年1月に特定健診の対象者である40歳以上の被扶養者へ送付。創刊号には読者向けのアンケートを実施。令和3年1月号には健康外来のチラシを同封。</p>	<p>計画的に計画的に発行の準備を進め、創刊号のアンケートは1430名の回答があった。</p>	被保険者に送付するけんぼっぴに比べ、けんぼっぴforFamilyは送付する対象者が限られている。得点する記事の選定に注意し、ヘルスリテラシーの向上、健診受診率の状況、適正受診へつなげるよう努めたい。	4

事業区分(注1)	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	実施状況・時期			評価(注2)
			属性	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び改善事項	
	7 ジェネリック医薬品の使用推奨	・後発医薬品利用の場合の差額通知を送付 ・平成31年度の分析をもとに対策を実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	20 ~ 74	全員	3,841	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年11月に後発品に切り替えることで年間1,000円以上の削減が見込める方を対象に、差額通知を発送(6,128名) ・ジェネリック医薬品希望シールを新加入者の保険証発給時同封して配布。 ・令和3年5月効果検証実施。対象者の令和2年12月～令和3年2月のレポートから効果を検証した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品利用した場合の差額通知を送付やジェネリックシールを配布することで加入者へ情報提供を行った。 ・効果検証を行い、今後の使用促進のための手法を研究した。 	加入者の65%にあたる派遣スタッフが取得と喪失を繰り返す傾向にあり効果検証がやや難しい。	5
	2 医療費通知	引き続き実施。	被保険者	全て	男女	20 ~ 74	全員	14,192	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間で医療給付があった被保険者全員に年間医療通知を2月に発送。 ・1月末時点で資格喪失している被保険者には送付が行わないが、今年度より印刷を行い健康保険費。送付依頼があった対象者には即対応できる体制を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より資格喪失者分を発行し健康保険。送付依頼があった場合に即対応できる体制を整備。 ・スケジュールを立てて対象者に発送。 	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBで確認できる仕組みがないため、加入者が随時自分で確認できる状態になっていない ・紙での送付のため、年1回の通知にとどまっている。 	5
	3.4 歯科健診	受診状況等を把握し、活用されるサービスになるよう検討する。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	95	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診センターに委託し、無料の歯科検診を実施【令和2年度】利用実績受診者数：379 	<p>H Pでの広報。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更に認知度を高めるため、広報の方法を検討する必要あり。 ・令和2年度はコロナの影響から歯科健診の受診率が8割弱に減少。歯科健診の重要性を広報等で伝える。 	5
疾病予防	6 健康相談	効果測定・目標設定を行えるような体制をつくる。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	10,913	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーバック株式会社に委託し、メンタル・フィジカルの健康相談を24時間受付で実施。 ・メンタルヘルスカウンセリングも電話と面談で実施。セカンドオピニオンの相談も受け付けている。 【令和2年度】利用実績健康相談 1,795件 カウンセリング 834件 セカンドオピニオン 40件 	<ul style="list-style-type: none"> ・15歳以下の被扶養者認定の保険証台紙に案内を印刷して送付 ・機関紙やH Pで加入者に広報 ・健康管理室にメンタルやテレワークによるストレスに関する窓口の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年と比較し、健康相談が113.4%上昇し、認知度は高くなっているが、より多くの加入者に認知してもらうことが必要。広報の手段を検討する。 	5
	3 人間ドック補助	健診内容等、全体を見直し。	被保険者	全て	男女	40 ~ 74	全員	518,429	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月1日時点で加入しており、年度末で40歳以上の被保険者を対象に7月中旬に案内。 ・一部の健診機関は自己負担2万円、それ以外の健診機関は自己負担1万円を実施。 ・令和2年度人間ドック受診者数：9,699名 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者に即座で案内書を送付。 ・H Pでの広報を充実させ、加入者が認知しやすい環境を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドックの受診は定期健康診断と重複する項目が多く、受診しないケースが見られる。 	5

事業力別(注1)	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	実施状況・時期			評価(注2)
			属性	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進実績	課題及び改善事項	
3	ファミリー健診 (被扶養者健診)	平成31年度のアンケートから対策を考え、実施する(対象は社員の40歳以上被扶養者)(1年百実施)	被扶養者	全て	男女	19 ~ 74	その他	20,448	・令和2年4月1日時点で加入しており、年度末で19歳以上の被扶養者を対象に7月中旬に案内。 ・40歳以上の被扶養者は無料で胃がん、乳がん、子宮頸がん検査の追加が可能。一部自己負担がある人間ドックへの切り替えも可能としている。 ・11月中旬時点で未予約者に40歳以上の扶養者で未受診者に受診勧奨はがきを作成し送付。 1,821名送付(内744名受診) 令和2年度ファミ健受診者数: 1,170名	・受診勧奨はがきの送付	人間ドック同様、ファミリー健診も受診するかどうか個人判断に委ねられる。	5
3,4	がん健診	平成30年度・31年度の検討を踏まえ、対策を実施。	被扶養者	全て	男女	40 ~ 75	全員	68,227	・単独がん健診(婦人科)以外のがん健診に関しては、令和2年4月1日時点で加入しており、年度末で40歳以上の被扶養者を対象に7月中旬に案内。 ・単独がん健診(婦人科)については、令和2年4月1日時点で加入しており、年度末に19歳以上になる女性の被保険者を対象に7月中旬に案内。 令和2年度単独がん健診受診者数: 7,014名 ・肺がん、大腸がん検査はファミリー健診の項目に含まれており、胃がん、乳がん、子宮頸がん検査は無料で追加することができる。 ・35歳以上の加入者で喫煙している方を対象にオンライン喫煙プログラムを案内 ・禁煙成功何回に問わず、一律5千円(税込み)で禁煙外費が受診できるよう設定 ・申込は28名で、22名禁煙成功。(令和3年6月15日時点)	・人間ドックの対象外の年齢の女性に個別がん健診を受診する機会を設けた。 ・受診勧奨はがきの送付	・人間ドック同様、ファミリー健診も受診するかどうか個人判断に委ねられる。また個別がん健診も同様個人判断に委ねられている。	5
5	禁煙促進事業	結果の分析と対策を引き続き実施。	被保険者・被扶養者	全て	男女	20 ~ 74	全員	1,776	・IC Tを活用し、通院する点が必要なく禁煙プログラムを受けられる点がある。	申込は強制ではなく個人判断による。また初回に高額な支払いが発生するため、申込ができる人が限られる。	5	
5	フィットネスクラブ利用	利用者を増やす施策を検討、実施する。	被保険者・被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	0	・4つのフィットネスクラブと法人契約を締結している。 ・緊急事態宣言期間中は利用者数が0または激減。宣言明け又は営業できるようにしてから利用者数が通常と同様に戻っている。 ・意欲的なフィットネスクラブと年間キャンペーン期間を設定し、HPで利用促進を実施。 ・資格取得時の配布するけんぽのしおりで広げ ・令和2年度はオンラインフィットネスを導入するクラブがある。	令和2年3月以降はコロナウィルスの影響でフィットネスクラブに通うことが困難になっている。また令和2年度は健診から積極的に広げるのに躊躇する状況だった。したがって加入者の運動量は減少している。	5	
	直営喫煙所											
	その他											

事業力別(注1)	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	実施状況・時期			評価(注2)
			属性	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進実績	課題及び改善事項	
	予算措置なし											

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
注2) 1. 4.0%未満 2. 4.0%以上 3. 6.0%以上 4. 8.0%以上 5. 10.0%

第7 決算残金処分

1. 一般勘定

決算状況		決算残金処分内訳	
収入決算額	24,416,217,634 円	準備金	125,533 円
支出決算額	23,494,419,603 円	別途積立金	921,339,622 円
		繰越金	0 円
		財政調整事業繰越金	332,876 円
差引残額	921,798,031 円	合計	921,798,031 円

2. 介護勘定

決算状況		決算残金処分内訳	
収入決算額	2,535,157,806 円	準備金	107,413,857 円
支出決算額	2,427,743,949 円	繰越金	0 円
差引残額	107,413,857 円	合計	107,413,857 円

第8 財産の移動状況

1. 一般勘定

種別	前年度末現在	本年度中移動		本年度末現在
	金額又は価格	増	減	金額又は価格
		金額又は価格	金額又は価格	
準備金	3,500,000,000 円	125,533 円	125,533 円	3,500,000,000 円
別途積立金	5,773,901,224 円	921,339,622 円	0 円	6,695,240,846 円
退職積立金	0 円	0 円	0 円	0 円
土地	0 円	0 円	0 円	0 円
建物	0 円	0 円	0 円	0 円
機械及器具	66,337 円	0 円	66,335 円	2 円
敷金	0 円	0 円	0 円	0 円
計	9,273,967,561 円	921,465,155 円	191,868 円	10,195,240,848 円

2. 介護勘定

種別	前年度末現在	本年度中移動		本年度末現在
	金額又は価格	増	減	金額又は価格
		金額又は価格	金額又は価格	
準備金	428,354,852 円	107,413,857 円	100,000,000 円	435,768,709 円

第9 組合債

該当なし

第10 その他重要な事項

該当なし

以上のとおり報告する。

令和3年7月16日

東京都千代田区丸の内1丁目9番2号

リクルート健康保険組合

理事長 野口孝広



リクルート健康保険組合 財産目録

令和2年度末現在

1. 一般勘定

種 別		金額又は価格	平成元年度末比	
準備金	金員	預貯金・信託	3,383,810,000 円	13,029,000 円減
		基金委託金	116,190,000 円	13,029,000 円増
		出資金	0 円	増減なし
	小 計		3,500,000,000 円	増減なし
別途積立金	金員	預貯金・信託	6,695,240,846 円	921,339,622 円増
	小 計		6,695,240,846 円	921,339,622 円増
その他の財産	土 地		0 円	増減なし
	建 物		0 円	増減なし
	機械及び器具		2 円	66,335 円減
	敷 金		0 円	増減なし
	小 計		2 円	66,335 円減
合 計		10,195,240,848 円	921,273,286 円増	

2. 介護勘定

種 別		金額又は価格	平成元年度末比	
準備金	金員	預貯金・信託	435,768,709 円	7,413,857 円増
	小 計		435,768,709 円	7,413,857 円増
合 計		435,768,709 円	7,413,857 円増	

令和2年度 決算 残金 処分 書

(一般勘定)

決 算 状 況		決 算 残 金 処 分 内 訳	
収入決算額	24,416,217,634 円	準備金	125,533 円
支出決算額	23,494,419,603 円	別途積立金	921,339,622 円
差引残額	921,798,031 円	繰越金	0 円
		財政調整事業繰越金	332,876 円

令和2年度 決算 残金処分書

(介護勘定)

決算状況			決算残金処分内訳		
収入決算額	2,535,157,806	円	準備金	107,413,857	円
支出決算額	2,427,743,949	円	繰越金	0	円
差引残額	107,413,857	円			